

奈良県立病院機構 平成28年度上半期実績

(西和医療センター)

(単位:百万円)

	H28予算	H28上半期実績		
		執行額(4~9月)	前年同期(H27.4~9)	前年同期比
医業収益	7,992	3,548	3,339	209
入院収益	6,297	2,715	2,520	195
外来収益	1,606	780	774	6
医業費用	8,807	4,109	4,006	102
給与費	4,392	2,158	2,011	147
材料費	2,545	1,074	1,120	▲ 46
経費	1,349	617	618	▲ 1
減価償却費	488	246	244	2
医業収支	▲ 816	▲ 561	▲ 667	108
県運営費負担金	473	236	241	▲ 4
その他の収益	56	5	18	▲ 13
経常収益計	8,520	3,789	3,598	192
償還利息計	27	14	0	14
その他の費用	18	1	0	1
経常費用計	8,852	4,124	4,006	117
経常利益・損失	▲ 332	▲ 335	▲ 408	75
臨時利益・損失	▲ 285	▲ 138	▲ 138	0
収益計	8,520	3,789	3,598	192
支出計	9,137	4,262	4,144	117
当期純損失	▲ 617	▲ 473	▲ 546	75

【前年同期との比較・現状認識・課題】

- ・医業収益は2億9百万円増加、医業費用は1億2百万円増加し、医業収支では1億8百万円の収支改善。
- ・経常利益・損失は、7千5百万円の改善
- ・入院収益は、1日当たり患者数が10人増加(㉗223人→㉘233人)したことにより1億9千5百万円増加
- ・給与費は、主に消化器内科医師3名増員および超過勤務手当の増加(㉗約1億4千万円→㉘約1億6千万円)等により1億4千7百万円増加
- ・材料費は、外科における直腸肛門の悪性腫瘍の減少(㉗39件→㉘28件)による抗がん剤の使用量減少や心機能管理の必要な循環器系疾患の減少により4千6百万円の減少
- ・今後入院稼働率としては90%の稼働を目指しており、そのための退院調整が課題となってくる。
- ・看護師長が中心となり、診療情報管理士を加え退院日の調整を行う、退院調整チームを立ち上げている。